

略歴

三浦保

(1928-1996)

- 1928年 松山市に生まれる
- 1948年 徳島工業専門学校を卒業後、企業人となる
- 1959年 ㈱三浦製作所(現・三浦工業㈱前身)を設立
- 1962年 この頃から、観世流の能、謡曲を嗜む
- 1963年 陶芸を始める
- 1972年 工房・窯炉第一号を建築
- 1975年 第二十四回愛媛県展に陶芸作品を出品(1995年まで毎回出品)
- 1977年 愛媛県美術館「やきもの三人展」(津川義雅・二神元・三浦保)
- 1978年 三浦製作所(製造部門)が三浦工業(販売部門)を吸収合併、三浦工業㈱に統合
愛媛県生活文化センターにて茶会「三浦保五十盃会」を開催
- 1980年 愛媛県美術館・萬翠荘にて陶芸の個展開催(1985年にも開催)
- 1987年 藍綬褒章受章
東京・国立能楽堂で催された「藤井久雄傘寿祝賀能 安宅」にてシテを舞う
- 1989年 三浦工業㈱の社長を退任、会長に就任
三浦工業、東京・大阪の両証券取引所第一部に上場
- 1990年 財団法人三浦教育振興財団を設立し理事長に就任
工房・窯炉第二号を建築。陶板画の制作を始める
- 1992年 東京アートエキスポ展に出品
- 1993年 第二回国際コンテンポラリー・アート・フェアに出品(第三回、第四回にも出品。)
- 1995年 ニューヨーク、HLWギャラリーにて個展開催
東京・銀座、川上画廊にて個展開催
- 1996年 ニューヨーク、キャスト・アイロン・ギャラリーにて個展開催
『三浦保陶板画作品集』刊行
東京・銀座、東京三菱銀行・銀座通支店のウィンドウに作品を展示
9月9日、逝去
従五位勲四等旭日小綬章受章
松山三越にて「追悼 三浦保創作の世界展」開催
- 1998年 三浦保が企画・立案したミウラート・ヴィレッジが完成
- 1999年 「三浦保遺作展」開催(ミウラート・ヴィレッジ)
- 2005年 「三浦保展～愛・夢」を開催(ミウラート・ヴィレッジ)
- 2009年 三浦工業㈱50周年記念「三浦保展～人生を楽しむ」開催(ミウラート・ヴィレッジ)
- 2012年 「三浦保 追想展～十七回忌によせて」開催(ミウラート・ヴィレッジ)

昭子

(1929-2016)

- 1929年 温泉郡重信町田窪(現・東温市)で生まれる
- 1947年 愛媛県立松山高女学校を卒業
- 1953年 三浦保と結婚
- 1959年 ㈱三浦製作所の経理、事務全般を行う
- 1970年 ㈱三浦製作所専務取締役を退任
- 1976年 ㈱ミウラの代表取締役役に就任
- 1982年 国際ソロプチミスト松山の会長に就任
- 1997年 財団法人三浦教育振興財団理事長に就任
- 2007年 ㈱ミウラ代表取締役会長として三浦工業㈱の株式100万株を愛媛県に寄付
- 2013年 三浦教育振興財団代表理事を退任
- 2015年 愛媛県美術館に吉田蔵澤の屏風、掛軸を寄贈
- 2016年 逝去
- 2017年 紺綬褒章受章



若かりし頃の三浦保・昭子(昭和41年)

三浦保・昭子 めおと展

M E O T O T E N

夢であえたら

2017年

5月3日(水・祝)～6月4日(日)

休館日:月・火曜日(祝日は開館)

開館時間:午前9:30～午後5:00

(入館は午後4:45まで)

入場料
無料

主催:ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)

協賛:株式会社ミウラ

後援:愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、
愛媛新聞社、南海放送、テレビ愛媛、
あいテレビ、愛媛朝日テレビ、
愛媛CATV、FM愛媛

MIURART VILLAGE

MIURART



三浦保・昭子めおと展

M E O T O T E N

夢であえたら

2017年 5月3日(水・祝)～6月4日(日)

休館日:月・火曜日(祝日は開館)

開館時間:午前9:30～午後5:00(入館は午後4:45まで)

関連イベント: **呈茶サービス** 茶菓子付き
会期中の土・日・祝に開催

次回展覧会: **伊東昭義展**(海中芸術)

2017年6月18日(日)～8月20日(日)



MIURART VILLAGE MIURART

ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)

〒799-2651 愛媛県松山市堀江町1165-1

TEL089-978-6838 FAX089-978-0323

<http://www.miuraz.co.jp/miurart>

E-mail:miurart@miuraz.co.jp

駐車場:30台と土・日・祝日は臨時駐車場(三浦工業
福角駐車場約250台)をご利用できます。

アクセス

- ◆JR松山駅より市内電車にて松山市駅へ、伊予鉄/北条行き「内宮/バス停」又は「花見橋/バス停」下車 徒歩約10分
- ◆松山空港より約11km ◆松山I.C.より約16km ◆今治I.C.より約35km

三浦保・昭子 めおと展

ME OTOTEN
夢であえたら

この度、ミウラート・ヴィレッジでは、「三浦保・昭子 めおと展～夢であえたら」を開催いたします。三浦保は、1928年に松山市に生まれ、徳島工業専門学校を卒業し、企業人となった後、父の後を継ぎ会社経営に携わります。1959年に㈱三浦製作所(現・三浦工業㈱)を設立後、たくいまれな経営手腕を発揮して一代で同社を上場企業にまで高め、社会に貢献して来ました。

企業家として多忙を極める傍ら、1963年より陶芸を始め、能、書、絵画を嗜み、その高度な芸術性は晩年にかけて全精力を傾注して取り組んだ独自の陶板制作において昇華しました。

また、美術品のコレクターとしても知られており、「良質な美術品を、地域の人々や社員に紹介したい」との熱い想いで、国内外から優れた美術品の蒐集に取り組み、それらを展示する美術館建設に邁進しました。

保の妻昭子は1929年に東温市に生まれ、愛媛県立松山高等女学校を卒業後、24歳で三浦保と結婚しました。内助の功を発揮し、夫を支え、1959年から1970年まで三浦工業の経理・事務全般に携わり、会社の発展にも大きく貢献しました。保と同様、芸術品への慧眼も高く、多くの美術品を蒐集し、2015年には吉田蔵澤の貴重な作品を愛媛県美術館に寄贈しました。また、夫婦ともにお茶を嗜んでいたことから裏千家淡交会との縁も深く、松山市の茶道発展にも貢献しました。

今展では、三浦保・昭子による「めおと展」と題し、三浦保自作の茶器、書などの作品と、昭子が蒐集し愛用していた着物、家族を思いあつらえた着物などを展示いたします。是非、この機会にご覧いただければ幸いです。



三浦保作 茶盃 銘 白虎



三浦保作 志野花入 銘 去来



三浦保作 引出黒茶盃



三浦保作 水指



三浦保作 伊羅保茶盃 銘 枯はちす



三浦保作 ねずみ志野皿 銘 稔り



色留袖



中国刺繍袋帯



西陣格天井袋帯



色留袖(梅)



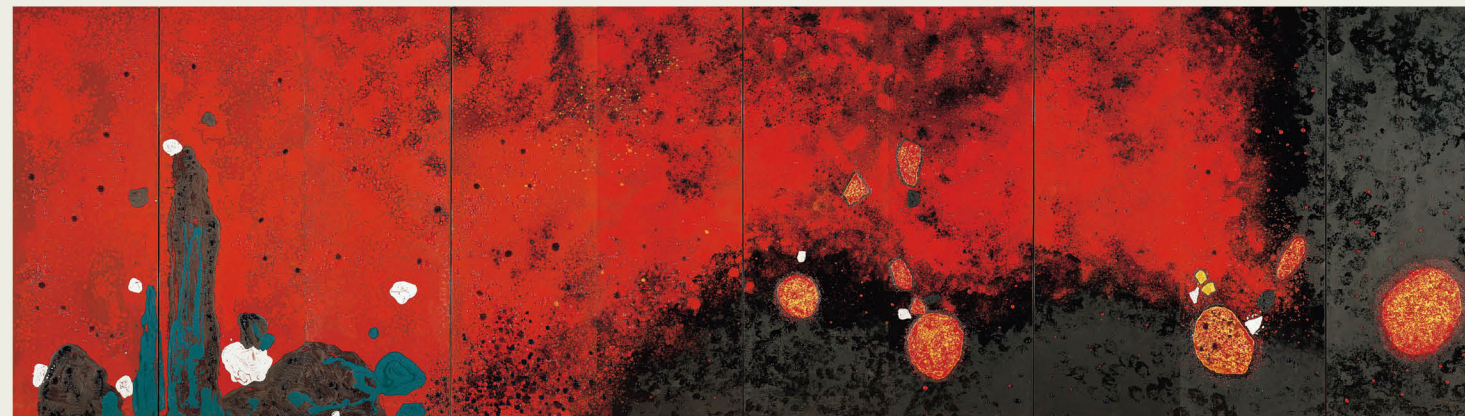
訪問着(菊切りばめ)



訪問着(更紗)



黒留袖



三浦保作 陶板画 赤と黒IV